

チャレンジ鹿児島労働局（22年2月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町 13-21

TEL 099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

1月の有効求人倍率は0.39倍で 前月を0.02ポイント上回る

鹿児島県の1月の有効求人倍率(季節調整値)は0.39倍となり、前月(0.37倍)を0.02ポイント上回りました。

新規求人倍率(季節調整値)は0.67倍となり、前月(0.72倍)を0.05ポイント下回りました。

新規求人数は前年同月比14.5%の減少で3ヶ月ぶりに減少となりました。

産業別では、建設業(45.6%減)は6ヶ月ぶりに減少、製造業(21.8%増)は4ヶ月連続の増加、運輸業、郵便業(11.7%減)は4ヶ月連続の減少、卸売業、小売業は24.5%の減少、宿泊業、飲食サービス業(4.6%減)は5ヶ月連続の減少、医療・福祉(12.0%減)は13ヶ月連続減少、サービス業(9.6%増)は3ヶ月連続の増加となりました。

新規求職者数は前年同月比4.2%の減少で2ヶ月連続の減少となりました。

新規常用求職者の態様別では、在職求職者(8.6%減)は2ヶ月連続の減少となりました。また、離職求職者(8.7%減)は2ヶ月連続の減少、無業求職者(20.6%増)は3ヶ月連続の増加となりました。

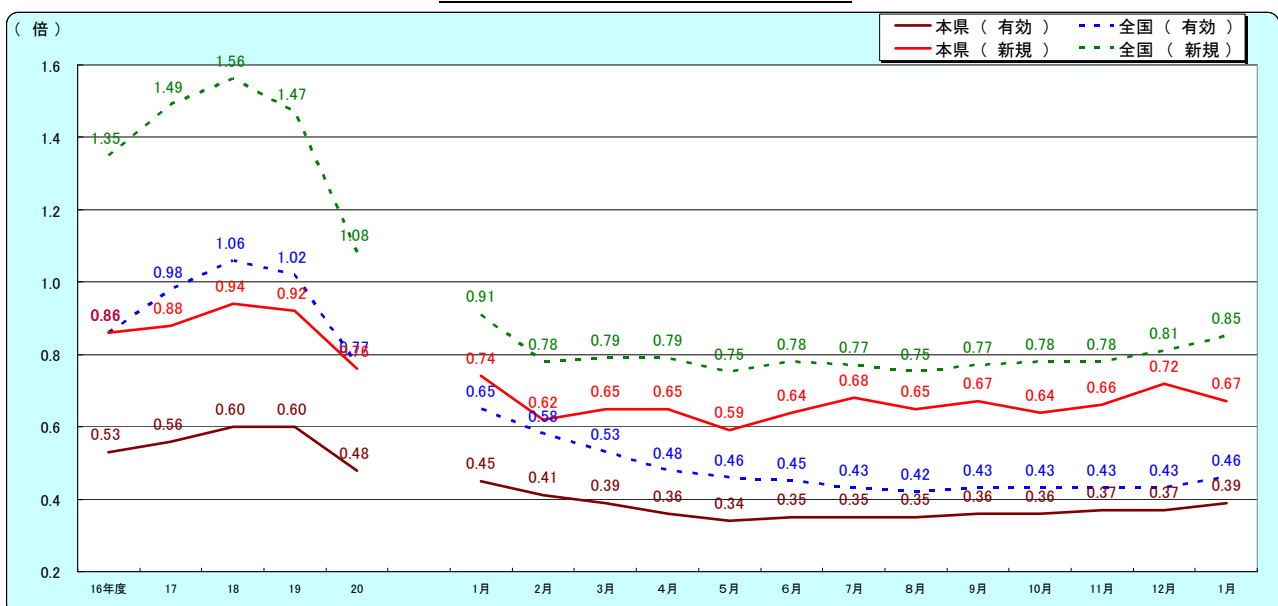
離職求職者の内訳では事業主都合離職者(20.3%減)は2ヶ月連続で減少し、自己都合離職者(4.1%減)も2ヶ月連続の減少となりました。

政府の2月の月例経済報告では、景気の基調判断を、「持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が最高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」と7ヶ月連続で景気判断を据え置いたものの、失業率は高水準で推移しているなど、雇用情勢については、「依然として厳しい」と報告されています。

鹿児島県の雇用情勢は、依然として厳しい状況が続くなか、新規求人は一部に持ち直しの動きがあるものの、引き続き低水準で推移すると思われます。一方、新規求職は、前年同月比で減少しているものの、有効求職は今後も高水準で推移するものと思われます。

鹿児島労働局では厳しい雇用情勢の下、雇用のセーフティネットとして、緊急的な支援措置、緊急雇用創造プログラムの推進を柱とする緊急雇用対策を積極的に活用し、雇用維持や再就職支援等に取り組み、今後とも一層効果的な行政の展開に努めて参ります。
(職業安定部職業安定課)

有効(新規) 求人倍率の推移



「春季就職面談会 in かごしま」を 3月9日に開催

鹿児島労働局では、「地域就職支援事業」の一環として県内就職希望者、22年卒業の就職未決定者の就職を支援するため、平成22年3月9日（火）に鹿児島サンロイヤルホテルにおいて「春季就職面談会 in かごしま」を開催します。

当日は12時00分に受付開始、13時00分から就職面談会になります。面接希望の方は、事前予約は不要ですが履歴書を持参してください。

参加企業は54社程度を見込んでいます。

参加企業については、事業実施者の(有)総務総合研究所 地域就職支援事業部のホームページで公開します。

○問合せ先 鹿児島労働局職業安定課
(TEL099-219-8711)

○事業実施者 (有)総務総合研究所 地域就職支援事業部（事業受託者）
(TEL099-214-4126)

(職業安定部職業安定課)